

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立宮津天橋高等学校 加悦谷学舎 】

|               |   |
|---------------|---|
| 1 実践テーマ       | 【 Ⅲ 】   |
| 2 実施対象者       | 京都府立宮津天橋高等学校 加悦谷学舎<br>第2学年1組・2組アスリートスポーツコース 9名<br>(男子6名・女子3名)<br>陸上競技部員 27名(男子 15名 女子 12名)  |
| 3 展開の形式       | (1) 学校における活動<br>① 教科名( スポーツ探究 )<br>② その他( 陸上競技部員 )  |
| 4 目標<br>(ねらい) | 特別支援学校の生徒とのスポーツ交流を通じて、障がい者理解を深め、他者への共感や思いやりの心を育てる。<br>パラリンピックについての理解を深め、フェアプレイやドーピングなどのスポーツの価値についても考える機会にする。  |
| 5 取組内容        | (1) オリンピック・パラリンピック教育<br>①令和3年9月21日(火)3限にオリンピック・パラリンピックの歴史や種目、使用器具について学んだ。<br>②令和3年9月28日(火)3限にパラリンピックの学びから障がい者理解、アンチドーピングについて学んだ。<br><br>(2) 与謝の海支援学校スポーツ交流会 於：与謝の海支援学校<br>① 事前指導 令和3年12月17日(金)13:00~13:30<br>与謝の海支援学校 教諭より<br><br>ア 交流の目標<br>イ 支援学校について<br>ウ 与謝の海支援学校の取組について<br>エ 交流について(カルチャーの紹介、接し方や話し方について)<br>オ 支援について<br>カ まとめ<br>② スポーツ交流<br>令和3年12月17日(金)13:30~14:30<br>与謝の海支援学校の生徒と本校アスリートスポーツコースの生徒でソフトボール、卓球、卓球バレーの3種目でスポーツ交流を実施する。 |

|                          |  |
|--------------------------|--|
|                          | <p>(2)を実施する予定であったが、当日気象警報が発表されたため、本年度は中止した。</p> <p>(3) 陸上競技部 合同練習</p> <p>(4)を実施する予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本年度は中止した。</p>   |
| 6 主な成果                   | <p>(1) パラリンピックの興味関心の育成<br/>2020年東京オリンピックが終了後、自分の専門種目の振り返り、感動した点や、勉強になったことを共有をさせた。パラリンピック種目やカテゴリー分け、ルールなど授業で紹介したものは多くはないが、それらをこの授業で初めて知った生徒が多くいた。</p> <p>(2) 障がい者理解<br/>パラリンピックについて学んだ後の、アンチドーピングや障がい者理解をテーマにした授業では、共生社会や多様性、フェアプレイ精神、スポーツの価値についても深く考えることができた。</p> <p>本校が文化祭の時に例年行っている与謝の海支援学校との交流会も今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため直接交流ができなかったが、多くの生徒が動画を撮影し、ビデオメッセージを交換することができた。直接交流できる日が来ることを楽しみにしているとメッセージに載せて発信していた。</p> |
| 7 実践において工夫した点<br>(事業の特色) | <p>事業が交流会の活動のみで終わらないよう、事前指導や事後の振り返りを行う。</p> <p>日々アスリートスポーツコースでトレーニングを行い、身体を鍛えている生徒に活動を実施させ、強さとともに優しさを合わせ持つことができるよう発見を促す。</p>   |
| 8 主な課題等                  | <p>今年は新型コロナウイルス感染症が夏に流行したため、冬に実施を計画していたが、冬はインフルエンザや雪の影響を受けやすい。今後の開催時期を検討したい。</p>   |
| 9 来年度以降の実施予定             | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 来年こそ与謝の海支援学校との交流を実施したい。</li> <li>2 年間実施回数を増やしたい。</li> </ol>   |